

# 「免許取得、責任負うこと」

## 交通事故被害者遺族の高石さん

〳室蘭・海星学院高で教室〵



室蘭市高砂町の海星学院高校(堺俊光校長、2000年)で7日、「命の大切さを学ぶ教室」が開かれた。1、2年生124人が、飲酒運転事故で息子を亡くした高石洋子さん〳江別市在住〳の体験を聞き、命の尊さを考えた。

法務省人権啓発活動地方委託事業。宗教の授業の一環として行った。高石さんの次男拓那さんは、高校1年生だった2003年(平成15年)2月、江別市内でアルバイトに自転車で行かう途中、飲酒した男が運転する車にはねられて命を落とした。男はそのまま逃走。男は逮捕されて実刑判決を受けている。

高石さんは、拓那さんを

~~~~~  
高石さんの講話から、命の尊さを考えた生徒たち

車ではねた男に科せられた刑の軽さに疑問を感じ、10年かけて署名を集め、自動車運転処罰法を成立にいたった過程を時折声を詰まらせながら説明。生徒たちに「免許を取得するということとは、たくさんの責任を負うこと」と訴えた。

同教室は9日に登別市幌別中学校でも開かれる。

(西川悠也)